



「今が人生でいちばん楽しいです」と大八木さん

輝いてます

ひと

タイヤファイトチャンピオン

おおやぎともみ 大八木 友美 さん

挑戦の先につかんだベルト

1 本の車のタイヤに互いの片足を入れて拳のみで戦う、世界一近い距離での格闘技「タイヤファイト」。そんな迫力満点の新興競技で女性初のチャンピオンベルトを手にしたのが大八木友美さん（39歳・錦町1丁目）です。球技スポーツの経験はあるものの、格闘技とは縁遠かった大八木さん。5年前に職場の同僚との何気ない会話から、腹筋の割れたきれいな体に憧れを抱き、蔵駅近くの格闘ジム「FREDDOM@OZ」の門を叩きました。次々と新たな挑戦を提案してくれる會長の下、楽しみながら運動に没頭。腹筋が割れてからは、筋肉の美しさを競うボディコ

ンテストやキックボクシングにも挑み、昨年6月に新たな試みとしてタイヤファイトへの参戦を決めました。

2か月の短い練習期間で臨んだデビュー戦は、経験とパワー不足もあり惜しくも引き分けでしたが、「恐怖心以上に高揚感も覚えました」とその魅力のとりこに。次は絶対に勝ちたいと、男性を相手に厳しい練習に取り組みました。そして自信をつけて臨んだ今年3月のタイトル戦。相手は、元プロボクシングアジアチャンピオン。鍛えた筋力と持ち味のメンタルの強さを生かした激しい戦いを見せ、タイヤから足が出るタイヤアウトポイントで2点奪い、1点差でみごと女王に輝きました。「今後も強さを証明していきたいです」と話す大八木さん。ベルトを防衛していくため、現在は課題であるガードの位置やパンチの強弱など、細かい技術を磨いています。蔵市でも9月の「わらフェス」でイベントが開催予定と、盛り上がりを見せるタイヤファイト。その第一人者として競技を盛り上げていくとともに、更なる高みを目指して挑戦を続けていくことでしょう。

今月の河鍋曉斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.74—



本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

曉斎筆「見立七福神の内
花見弁天図」軸装

本図は軸の題簽に「花見弁天図」と記されていることから、この桜を仰ぎ見る女性を弁財天に見立てた作品であることが分かります。弁財天は七福神の中で、音楽や水を司る神として知られています。その弁財天を直接描くのではなく、色紙に描かれた琵琶や、水辺の景色など、弁財天を象徴する風物により表現しているのがこの「見立絵」の見どころの一つです。女性の顔をあえて描かず、後ろ向きにしているのも、想像力をかき立てられる作品です。

河鍋曉斎記念美術館 開催中

企画展「曉斎・曉翠 植物画」展

同時開催 特別展「『曉斎漫画』の世界」展

開館＝午前10時～午後4時

休館＝火・木曜日、毎月26日～末日
年末年始

ところ＝南町4-36-4

入館料＝一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円

※65歳以上は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください

詳細＝同館 ☎441・9780



展覧会の詳しい内容は美術館のホームページを御覧ください

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の曉翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 曉斎

天保2年（1831）
～明治22年（1889）